令和８年１月９日

令和７年度病害虫発生予察情報 第 10 号（１月予報）

群馬県農業技術センター
（病害虫防除所）
土壌･病害虫部　発生予察係
TEL　0270－62-1059
FAX　0270－20-8016

【予報の概要】

作物名	病害虫名	対象地域名	発生時期	発生量
施設果菜類	アブラムシ類	施設栽培地帯全域	-	並
	コナジラミ類	施設栽培地帯全域	-	並
	うどんこ病	施設栽培地帯全域	-	並
	灰色かび病	施設栽培地帯全域	-	並
トマト	疫病	施設栽培地帯全域	-	並
イチゴ	ハダニ類	施設栽培地帯全域	-	やや多い

（発生時期の-は連続発生）

【主な病害虫の発生予報】

Ⅰ）イチゴ

ハ　ダ　ニ　類	発　生　地　域	発　生　時　期	発　生　量
	施設栽培地帯全域	－	やや多い

１　予報の根拠

（１）現在までの発生量は平年並であるが、一部地域でやや多い。

（２）今後１か月の気象予報（１月８日発表）によると、平年に比べ晴れの日が多く、平均気温は高い確率５０％、降水量は少ない確率６０％、日照時間は多い確率５０％である。

《発生しやすい条件：生育適温２０～３０℃で、晴天が続き乾燥条件の場合。》

２　防除上注意すべき事項

（１）今後発生しやすい気象が予報されているため、ほ場を見回って発生状況を確認する。
１月６日の県予察ほ調査※において、１２月２６日の調査では確認されなかったハダニ類が、調査の最大値（３００頭）以上確認されている。

（２）発生が多くなると防除が困難となるので、早期発見及び早期防除に努める。

（３）薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連続散布を避ける。また、薬剤散布は葉裏まで薬剤が十分かかるよう丁寧に行う。

（４）天敵を導入しているほ場では、薬剤散布の際に天敵に影響の少ない薬剤を選択する。

※県予察ほ調査は、農業技術センター内のイチゴほ場の病害虫の調査である。

【その他の病害虫の発生予報】

作物名	病害虫名	発生時期	発生量	特記事項
施設果菜類	アブラムシ類	−	並	現在までの発生量は平年並。一部地域のイチゴで、早い時期から多くのアブラムシ類が確認されている例があるので、注意する。
	コナジラミ類	−	並	現在までの発生量は平年並。
	うどんこ病	−	並	現在までの発生量は平年並。多発してからの薬剤散布では防除効果が劣るので、初期防除を徹底する。
	灰色かび病	−	並	現在までの発生量は平年並。低温時の多かん水を避け換気を行う、循環扇や暖房機を用いた通風を行うなど、施設内の適切な湿度管理に努める。
トマト	疫病	−	並	現在までの発生量は平年並。被害茎葉、被害果実は伝染源となるため速やかに除去し、施設外に持ち出して適切に処分する。

【今月の気象情報】

関東甲信地方　１か月予報

（１月１０日から２月９日までの天候見通し）

令和８年１月８日
気象庁　発表

＜向こう１か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）＞

要　　素	地　　域	低い（少ない）	平　年　並	高い（多い）
気　　温	関東甲信地方	１０	４０	５０
降 水 量	関東甲信地方	６０	３０	１０
日照時間	関東甲信地方	２０	３０	５０

＜予想される向こう１か月の天候＞

・平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

・向こう１か月の平均気温は高い確率５０％、降水量は少ない確率６０％、日照時間は多い確率５０％です。

＜参　考＞ 前橋地方気象台観測平年値（１月）

	平均気温（℃）	降水量（mm）	日照時間（時間）
１半旬	４．２	２．６	３５．０
２半旬	３．９	３．７	３４．７
３半旬	３．７	５．２	３４．０
４半旬	３．６	６．０	３３．２
５半旬	３．５	５．８	３３．７
６半旬	３．５	６．２	４２．０

農薬の登録内容は随時変更されておりますので、防除薬剤については指導機関にご相談下さい。
また、以下のホームページでも確認できますのでご利用下さい。

◆　農林水産省 農薬コーナー　（農薬に関する様々な情報）
http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/index.html

◆　（独）農林水産消費安全技術センター（最新の農薬登録状況の検索や登録・失効農薬情報等）
http://www.acis.famic.go.jp/index.htm

◆　群馬県　農作物病害虫・雑草防除指針
https://www.pref.gunma.jp/06/f0900064.html

◆　群馬県農業技術センター 病害虫発生予察情報一覧
https://www.pref.gunma.jp/07/p14210015.html

◆　ぐんま病害虫ライブラリー
https://sites.google.com/view/g-byouga

病害虫発生予察情報
一覧はこちら！